

## 検査・点検整備に対するユーザー意識調査の概要

## ユーザーアンケートの実施方法と回答者属性(図 1～9)

## 1. アンケート対象者

一般の自動車(貨物車も含む)を運転するユーザー

## 2. アンケート実施期間

平成16年2月13日～2月19日

## 3. アンケート方法

インターネットの登録モニターから自動車保有者を約1万人抽出してアンケートを実施し、回収数が2000名を超えるまで行った。

## 4. 調査回答者の属性

- ・ 回収総数：2158人
- ・ 男女比： 52.4：47.6 とほぼ半々。30才台が46.4%と大多数を占める。
- ・ 職業： 会社員が48.4%、主婦が27.4%、商工・サービス自由業が7.2%、  
・ 公務員が6.2%となっている。
- ・ 車種： 乗用車が大半。(小型、普通で全体の81.4%、軽自動車で15.9%。  
その他乗用車(キャンピングカーなどいわゆる8ナンバー)まで加えると97.3%を占め、貨物はわずか2.7%である。
- ・ 用途： 家庭用49.5%、通勤・通学用が29.5%、レジャー用が14.8%、  
仕事・商業用が5.6%となっている。
- ・ 年式： 平成14年が約11%、平成12、13、15年が各年約10%程度である。また、平成9年から平成11年までが9%前後、平成7、8年が7%程度である。  
全体的には各年ほぼ均等に分布している。
- ・ 1週間の利用状況： 毎日利用している方が33.8%、5～6日が20.2%、3～4日が20.9%  
2日以下が25.2%となっている。
- ・ 総走行距離： 最も多い範囲が、1万km以上～2万km未満で15.1%、ついで  
1万km未満が14.3%、以下、2万km以上～3万km未満が13.4%、  
4万km以上～5万km未満が9.6%、5万km以上～6万km未満が7.7%、  
6万km以上～7万km未満が7.2%、7万km以上～8万km未満が5.1%、  
8万km以上～9万km未満が4.5%と総走行距離が伸びるほど対象者の割合は基本的には漸減している。

## 調査結果の概要

### 1．自動車に対する関心度(図 10～14)

- ・自動車への関心は、「非常にある」、「まあまあある」と答えたユーザーはあわせて 70.4%おり、高いといえる。
- ・安全に関する関心、環境に関する関心は、単に自動車に関する関心よりさらに高い(約 80%)。具体的関心事項では、エアバックや ABS など安全装備品についてはいずれも 90%以上と高く、続いてリコール制度の 70%程度となっている。また、NOx、PM 規制などの環境面は安全面に比べて関心は低い。
- ・各部位別の関心では、サスペンション、エアクリナー、ラジエーター、ヒューズの名称は知っているが機能は知らないユーザーが 2 割程度いる。

### 2．路上故障の際の措置(図 17、18)

- ・路上故障の体験のあるユーザーが 40.7%おり、このうち日本自動車連盟(JAF)に故障救援依頼したユーザーが多く(41.0%)、次いで近くの整備工場に持ち込む(17.2%)、もしくは来てもらう(13.1%)、さらに自ら修理したユーザー(12.6%)と続く。

### 3．車検の実施場所(図 19,20)

- ・ディーラーに依頼するユーザーが直近の車検で 55.9%と多く、次いで整備工場が 25.0%、さらに、車検代行業者への依頼が 7.0%、ガソリンスタンドが 5.4%となっている。
- ・自ら検査場に持ち込むユーザー車検は、直近の車検で 2.0%となっている。
- ・次回車検を受ける場合には、「ディーラー」を希望するとしているユーザーが少し増加して 58.9%となっているほか、ユーザー車検を受けるというものも 2.6%と若干増加している。

### 4．車検時の定期点検実施状況(図 21～26)

- ・直近の車検で 69.0%のユーザーが車検時に定期点検整備を行っているが、16.3%のユーザーは、定期点検整備を実施していなかった。
- ・また、次回車検時に定期点検を実施したいと考えているユーザーは 84.5%ある一方、行わないと考えているユーザーも 15.5%いる。
- ・車検時に定期点検整備を行う理由としては、「検査が一回で済む可能性が高いから」が 46.8%、「安全性を確保し公害を防止するため」が 43.8%、「国が定期点検を義務付けているから」が 26%となっている。
- ・車検時に定期点検を行わない意向のユーザーは、その後も「定期点検はしない」と考えているものが 73.1%と多い。その理由として「点検、整備等は故障時等に適宜行えばよい」(車検時に実施しないでその後も実施するつもりがないと考える人の 41.8%)との考え方を持っている。

## 5 . 乗用車の車検の有効期間の考え方 ( 図 27 )

- ・有効期間がちょうど良いと考えているユーザーが 30.7%、非常に短いと 16.3%、やや短いと 49.5%となっており、車検の有効期間が短いと考えているユーザーが 65.8%いる。

## 6 . 車検の必要性和費用についての考え方等( 図 28 ~ 33)

- ・車検は必要であるとするユーザーが 70.2%、必要だと思わないが 14.0%である。
- ・必要と思うと考えるユーザーの理由は「安全走行と環境保全のため」が 64.0%、ついで「車検が無いと保守管理を行わないから」が 29.3%である。
- ・逆に必要と思わないユーザーの理由は「保守管理はユーザーの自己管理責任に任せるべきであり法律で義務付けられるものではない」が 45.1%、「自動車の性能が向上し故障しないから」が 36.1%、「点検整備は故障時などに適宜行えばよい」が 15.8%となっている。
- ・車検の際の費用が高い原因として、税金を上げているユーザーは 70.0%と高く、点検整備料が高いとしているユーザーは 12.6%である。
- ・ユーザー車検という言葉を知らないユーザーは 3.5%にすぎない。
- ・立会い整備方式については、名前を知っているユーザーが 60.8%であるが、これを利用したユーザーは、10.2%と少ない。
- ・車検を依頼する際、ユーザーが重視している内容は、時間が短いことや費用が安いことよりも信頼できる整備工場であることとしているユーザーが 56.3%と多い。

## 7 . 点検整備の必要性など(図 34 ~ 37)

- ・点検整備の必要性を認めているユーザーが 62.3%、必要ではないというユーザーは 16.5%である。
- ・定期点検整備の実施場所としては、「車を購入したディーラー」が 52.4%、ついで「車を購入した場所以外の整備工場(ディーラーを除く)」が 10.5%である。「自分自身」、「車を購入した整備工場」、「車を購入したディーラー以外のディーラーの工場」がそれぞれ 7%程度、「ガソリンスタンド」が 5.5%である。
- ・ボンネットをユーザー自ら開けて点検する頻度は月に一度程度が 27.0%、半年に一度程度が 26.2%、年に一度程度が 14%である。また、開けたことがないユーザーが 25.7%いる。

アンケートデータ

1. 回答者の属性

図1 回答者の男女比(n=2158)

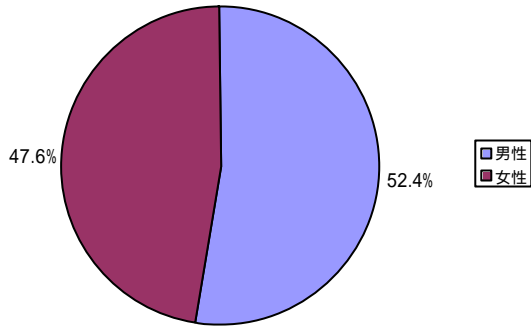


図2 年齢構成(n=2158)

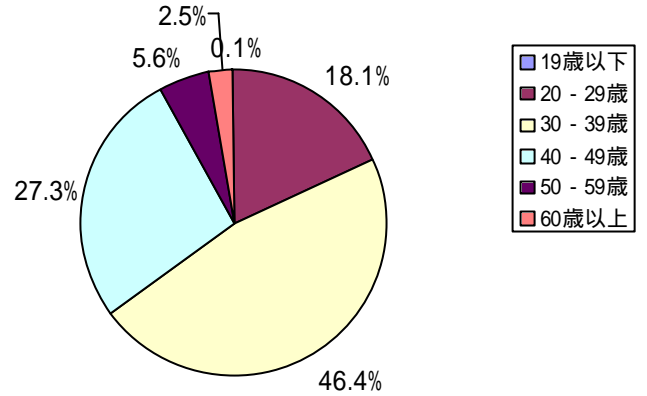


図3 回答者の職業(n=2158)

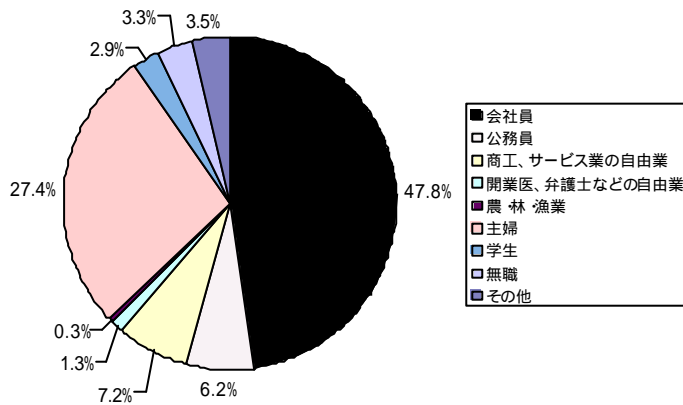


図4 自動車の用途(n=2158)

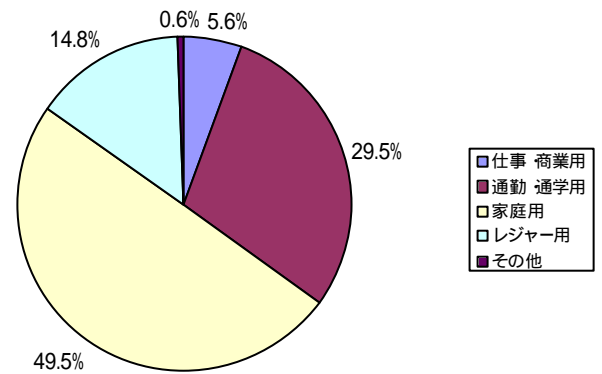


図5 回答者の自動車の車種(n=2158)

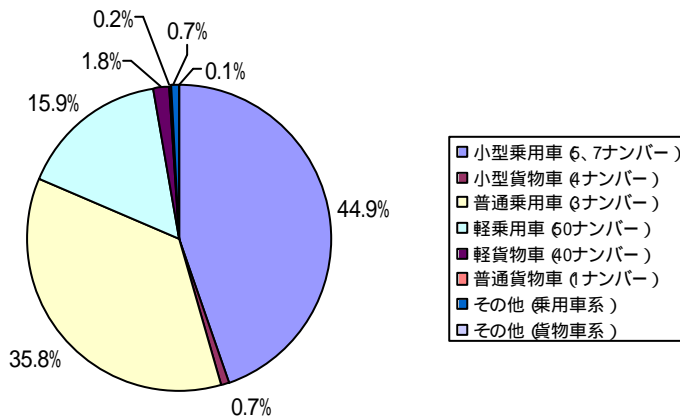


図6 年式の分布(n=2158)

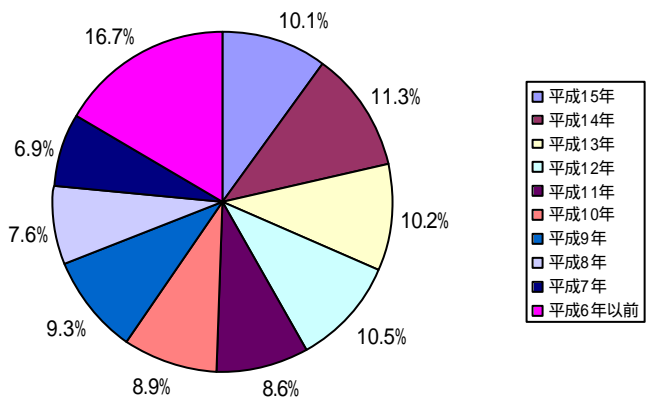


図7 自動車の1ヶ月平均の走行距離 (n=2158)

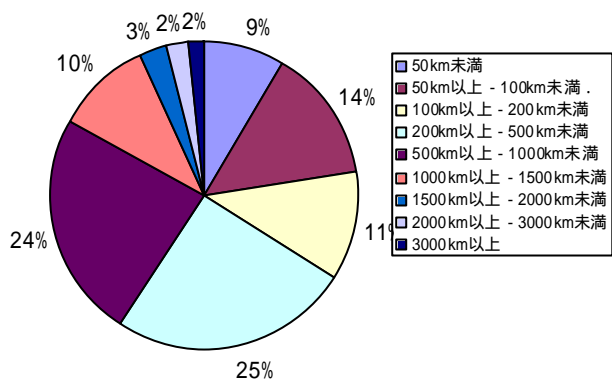


図8 自動車の総走行距離 (n=2158)

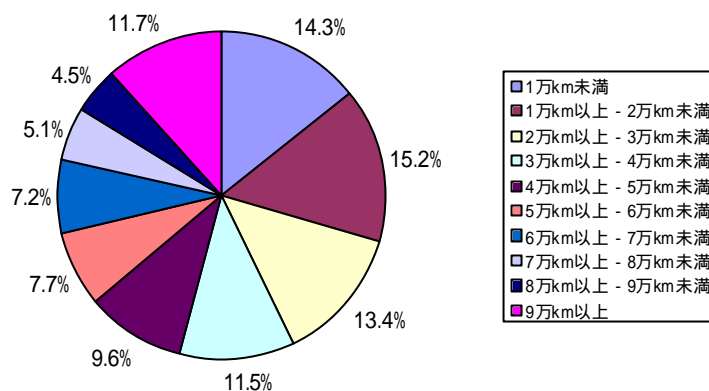
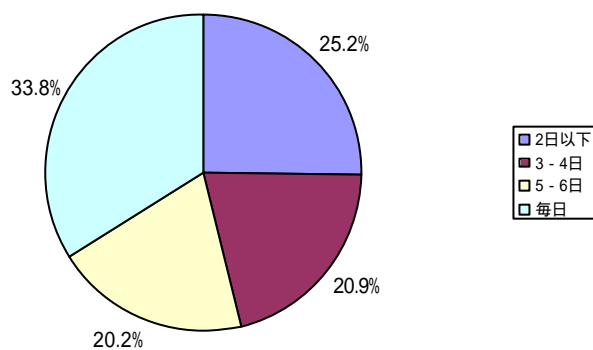


図9 自動車の1週間平均利用日数 (n=2158)



## 2. 自動車に対する関心度

図10 自動車に対する関心度 (n=2158)

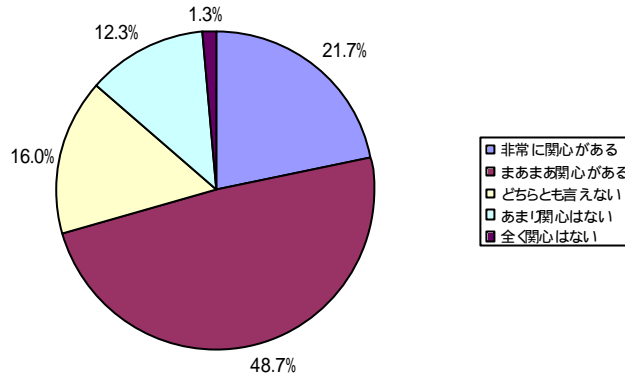


図11 自動車の安全装備  
(エアバック、ABS等)に関する  
関心度 (n=2158)

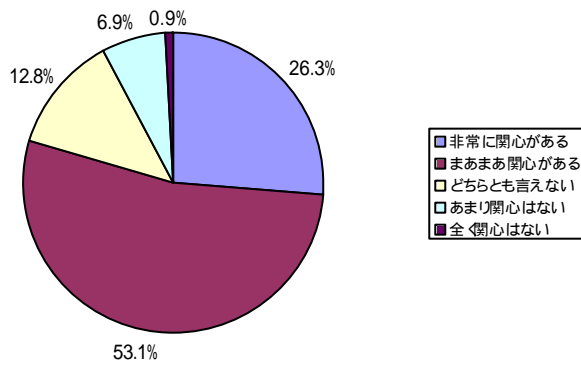


図12 自動車の排出ガスなど環境  
に関する関心度 (n=2158)

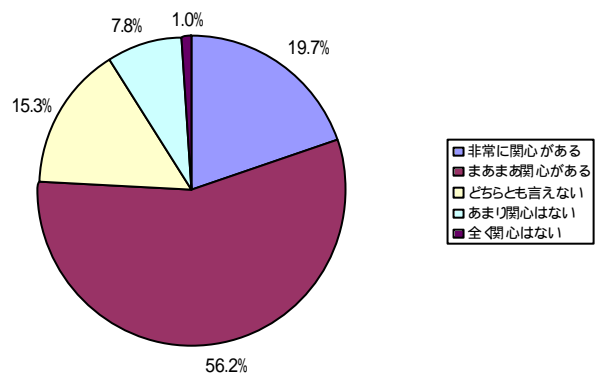


図13 自動車に関する関心の内容 (n=2158)

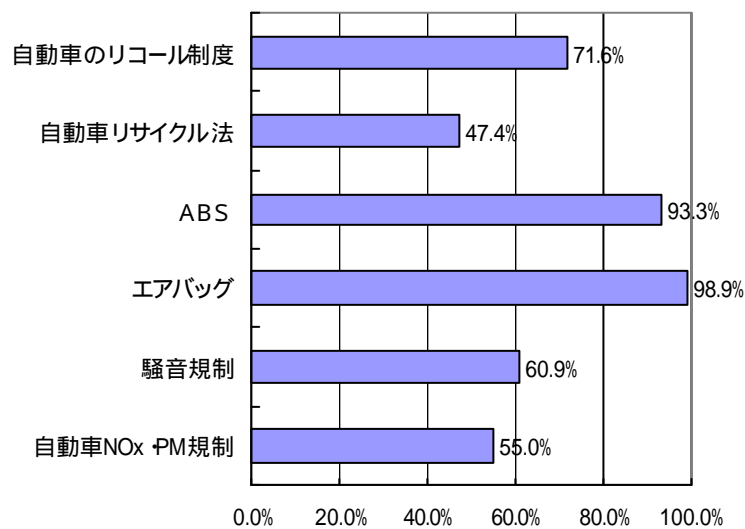
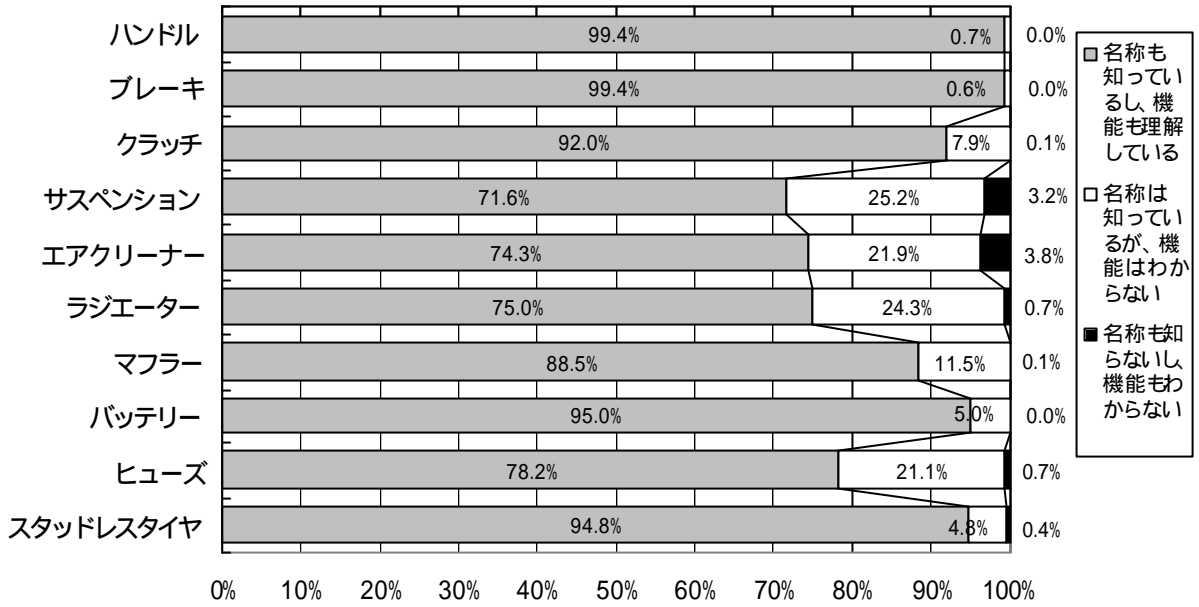


図 1 4 各部位別の関心度 (n=2158)



3. 交通事故や路上故障の経験

図 1 5 交通事故の経験の有無 (n=2158)

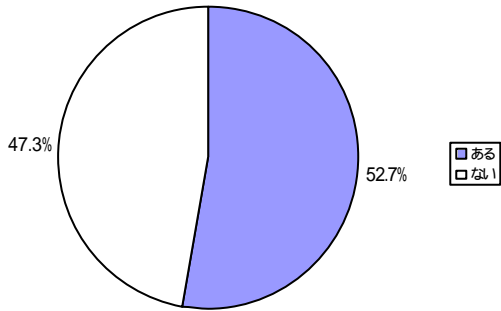


図 1 6 交通事故の内容 (n=1137)

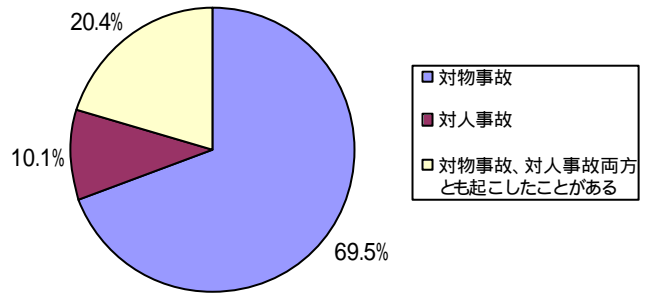


図 1 7 路上故障体験の有無 (n=2158)

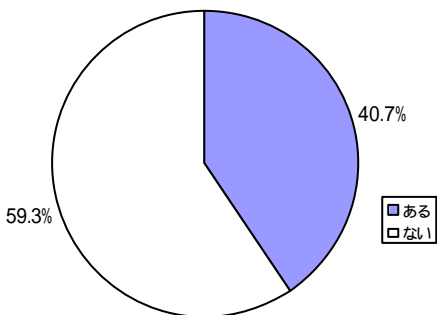
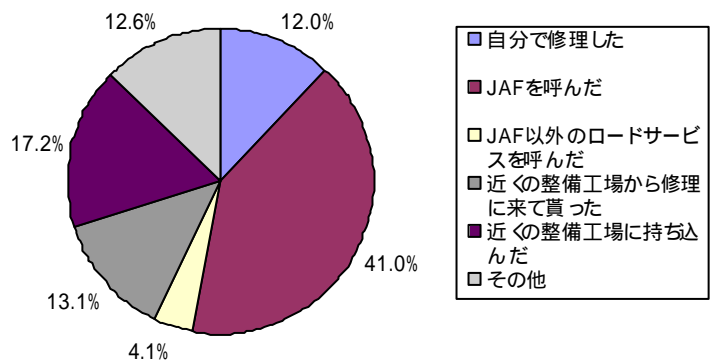


図 1 8 その際の措置 (n=878)



#### 4. 車検の実施と定期点検の実施

図 1 9 直近の車検の際持ち

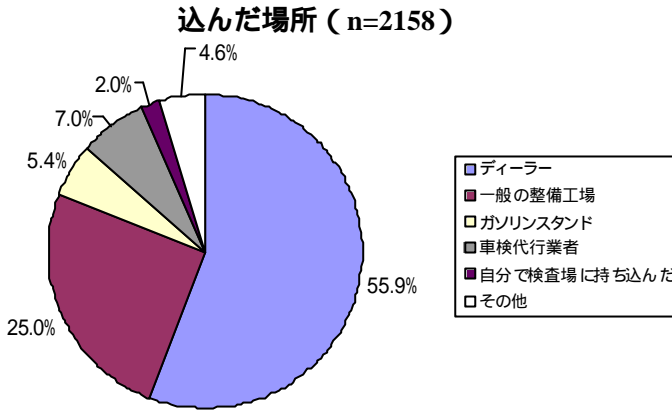


図 2 0 次回車検を受ける場所 (n=2158)

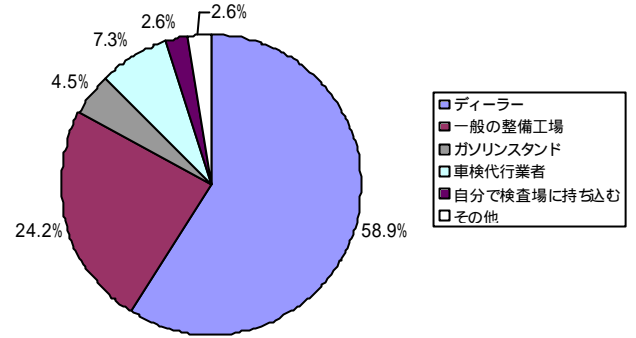


図 2 1 直近の車検時における定期点検整備の実施状況 (n=2158)

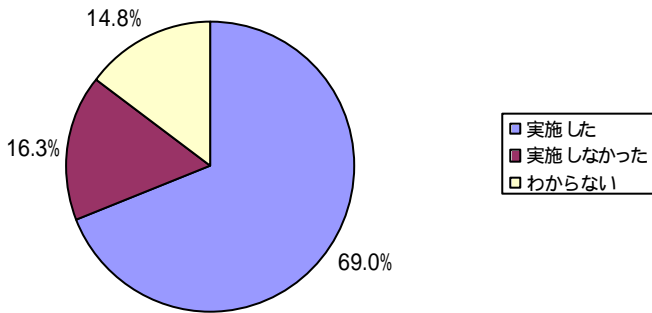


図 2 2 次回車検時の定期点検実施の意向 (n=2158)

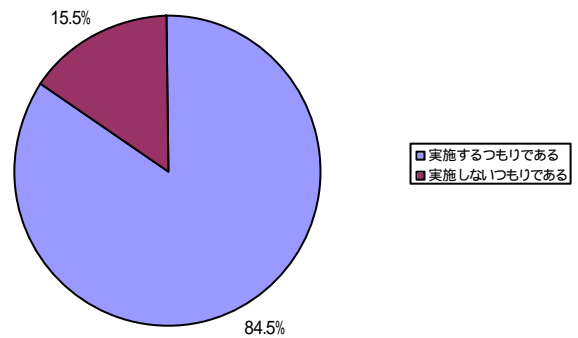


図 2 3 車検時に定期点検を行う意向の人の理由 (n=1824、複数回答)

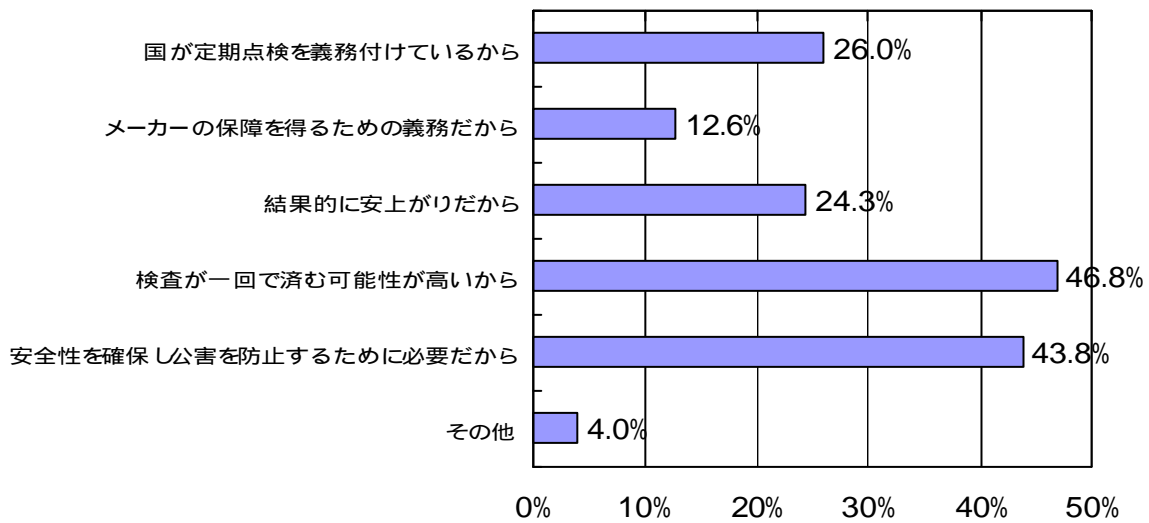




図 2 4 次回車検時には定期点検を実施しないでその車検後に実施する意向 (n=334)

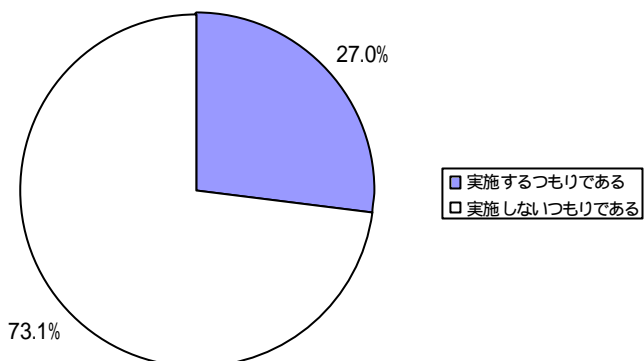


図 2 5 車検時には定期点検を行わないがその後の定期点検を実施したいとする人の実施予定場所 (n=90)

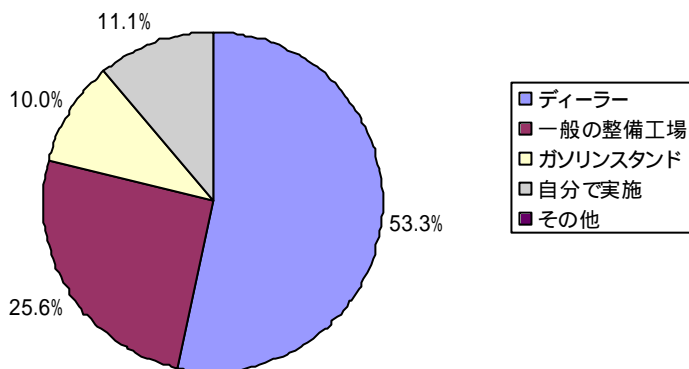
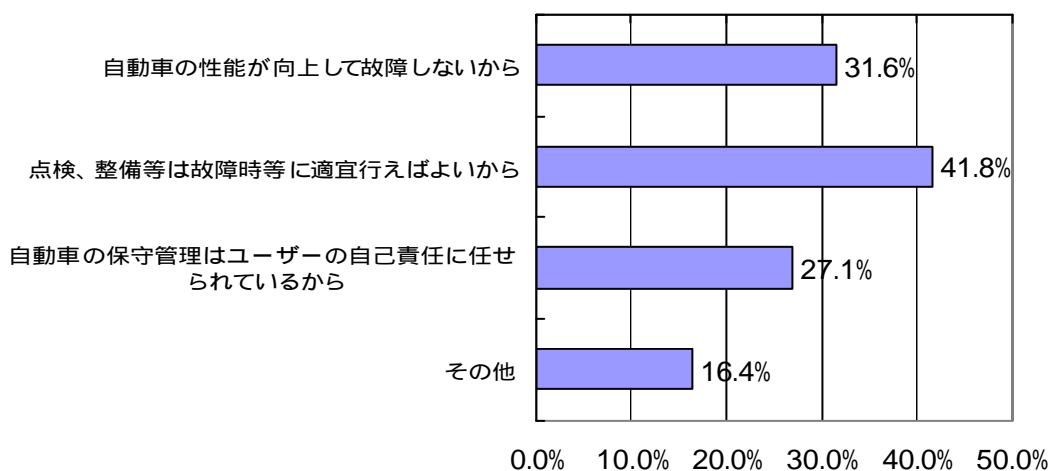
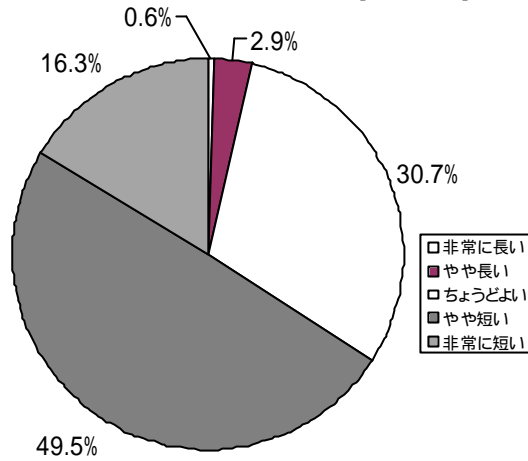


図 2 6 車検時に行わずその後も定期点検を「実施しないつもり」と答えた人の実施しない理由 (n=224)



## 5. 乗用車の車検の有効期間の考え方

図 2 7 車検の間隔に対する意見 (n=2114)



## 6. 車検の必要性

図 2 8 車検の必要性 (n=2158)

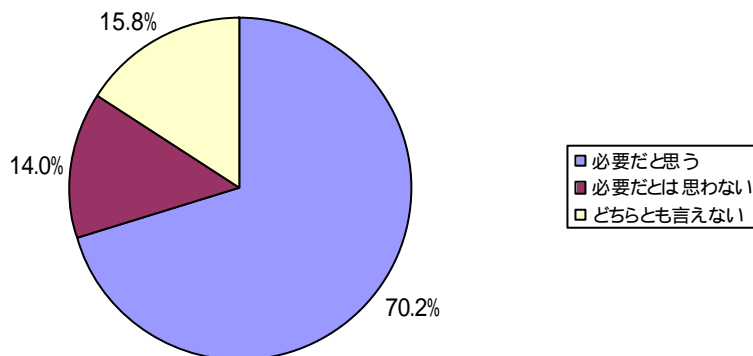


図 2 8 - 1 必要と思う理由 (n=1514)

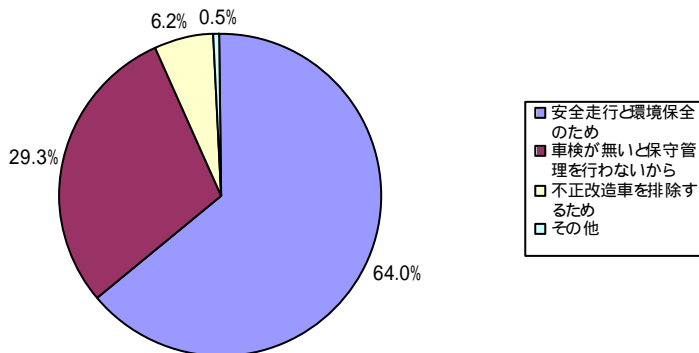


図 2 8 - 2 必要と思わない理由 (n=303)

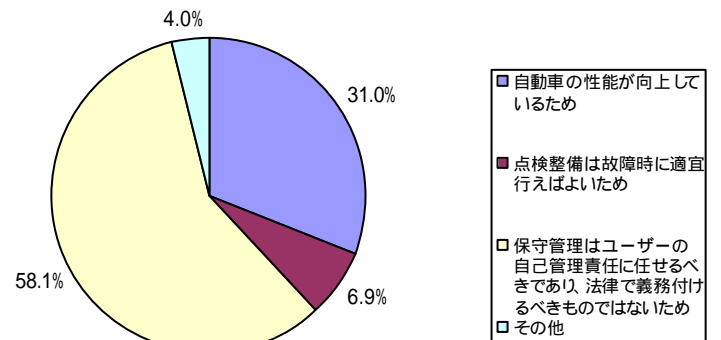


図 2 9 車検の際の費用に関する意見 (n=2185)

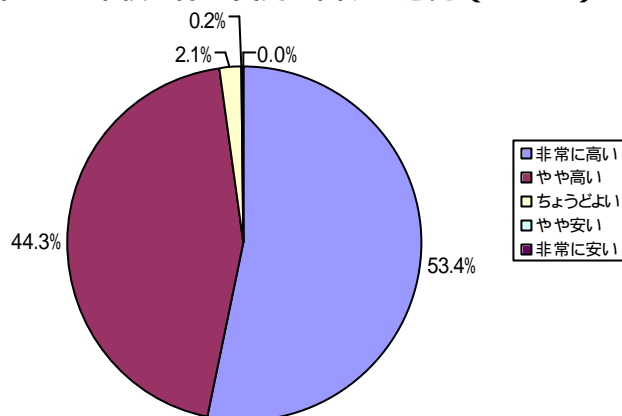


図 3 0 費用が高い原因として挙げられるユーザー (n=2109)

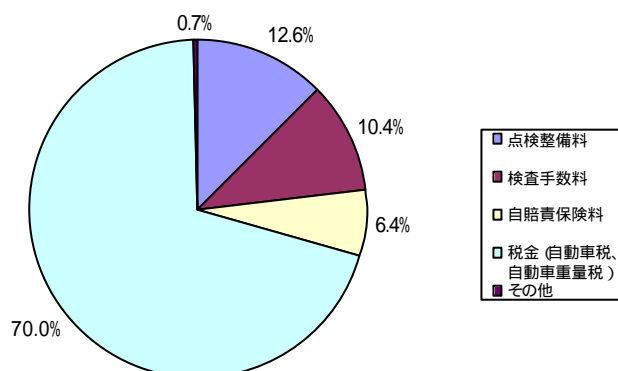


図 3 1 「ユーザー車検」の認知度 (n=2158)

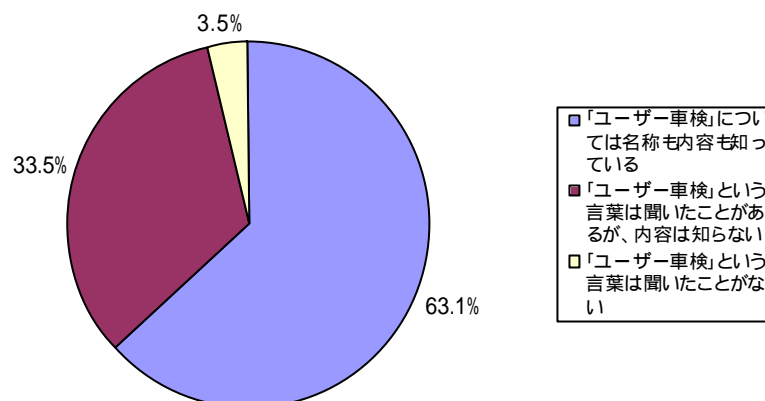


図 3 2 「立合い整備方式」の認知度 (n=2158)

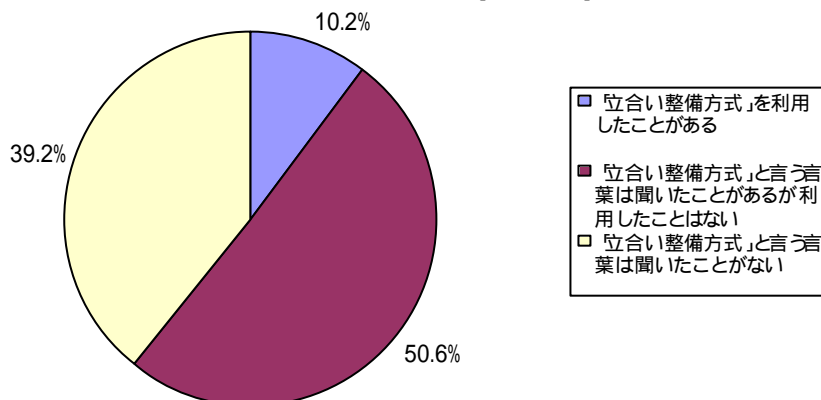
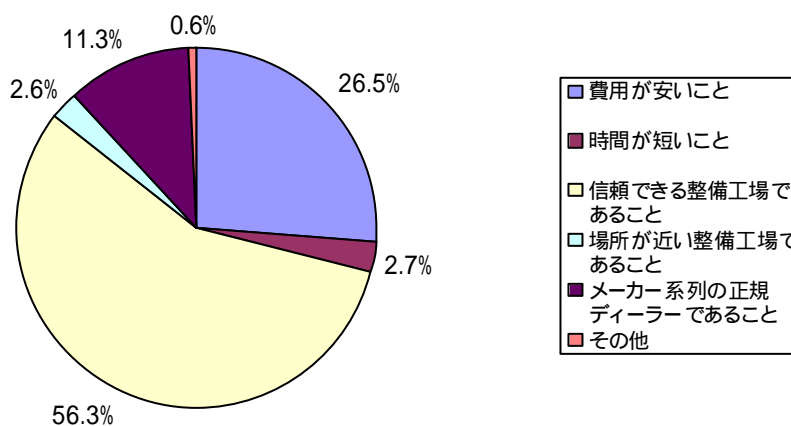


図 3 3 車検の際重視すること (n=2158)



## 7. 点検整備の必要性など

図3 4 自動車の定期点検整備の必要性 (n=2158)

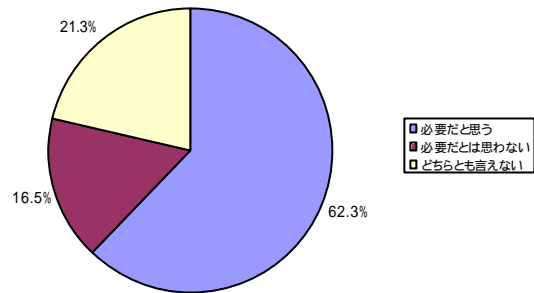


図3 5 - 1 必要と思う理由 (n=1344)

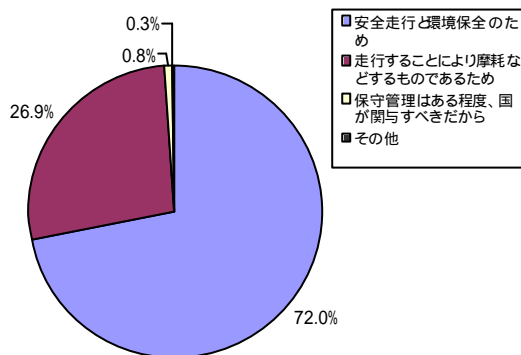


図3 5 - 2 必要と思わない理由 (n=355)

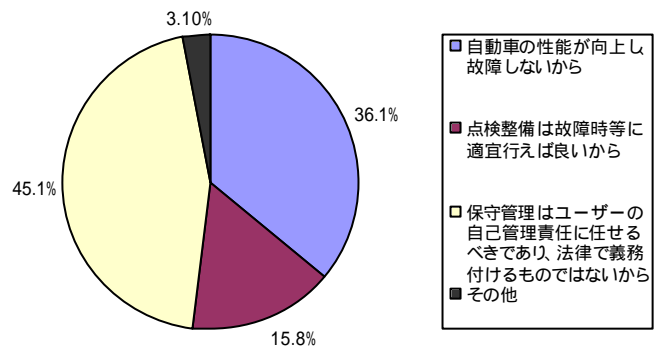


図3 6 定期点検整備の実施場所 (n=2158)

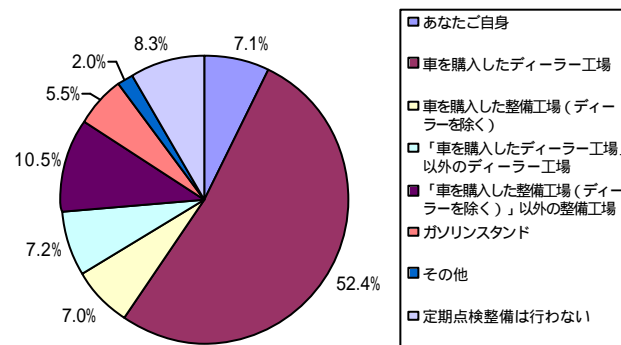


図3 7 自分でボンネットを開けて点検する頻度 (n=2158)

